

## 10月27日に区長さん・役員さんおしゃべり会

令和5年11月19日 佐久市市民活動サポートセンター

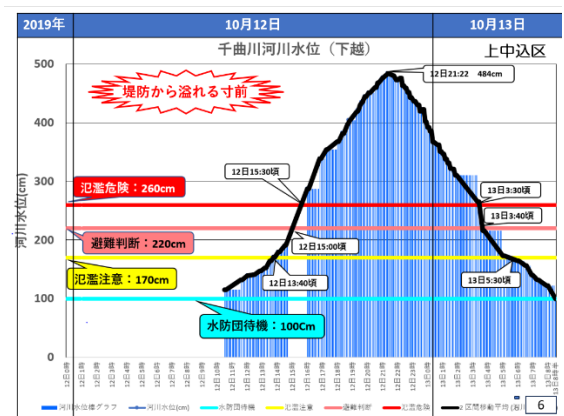
10月27日に区長さん・役員さんおしゃべり会を開催しました。おしゃべり会と称したこの会は、区の役員さんたちの困りごとや取組みについて、かしこまらずに気軽に自由に意見交換し学び合うことで、地域ごとの課題解決のヒントや改善に繋がられないかと昨年から開催しています。今回は「どうしてですか？みなさんの自主防災組織」というテーマで開催しました。

第1部では、上中込区が抱える「機能する自主防災組織にするにはどうすればよいか」防災の課題と、それに対して、5つの区から防災関係の取組み事例について紹介しました。第2部では、さらにグループ毎に別れ、区長さん・役員さん同士で情報交換しました。

### 〈第1部：上中込区長さんが抱える課題・事例紹介〉

上中込区は、西側に千曲川が流れ、地形がその堤防より低くなっています。さらに上流の南側には雨川（あめかわ）もあり、昔から洪水が多い地区です。昔は、一段高い「原区」に移住した人が多かったようです。

最近も洪水が起きています。1999年8月の大雨で雨川の堤防が決壊し、床上・床下浸水が十数件発生しました。2019年の台風19号では千曲川・雨川とも決壊寸前でした。

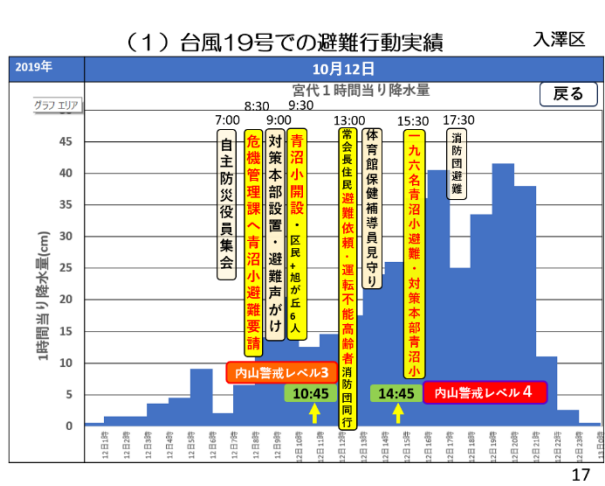
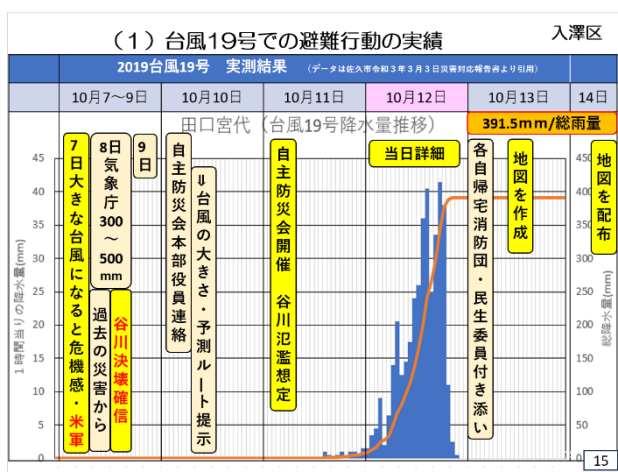


上中込の公会場も千曲川の堤防より低い所にあり、洪水時には避難できず、近隣の原区・大奈良区の公民館を利用させてもらっていましたが、そんな中、現友野区長は上中込区に事業所を持つ三葉産業(株)長野営業所を一時避難所として活用できるよう災害協定を結びました。

このような危険な地域にも係らず、防災に対する住民の意識が低く、防災組織も紙面上では作られているもののあまり機能しているとは言えない。また、区長を組織の長にすると2年ごとに区長が変わり、やり方が変わってしまう。人によって変わらず継続的に進めるにはどうしたら良いか思案しているとのこと。

### 【入澤区】

まず、事例のひとつとして入澤区の渡辺区長が2019年の台風19号の際に当時どのような行動をとったかを主に説明しました。特に早めの気象情報収集と以前の経験（含む消防団）を活かし、早めでの確な判断で住民を旧青沼小学校に避難させ、住民の安全を守ったということです。最も称賛されるのは佐久市の避難指示を待たず、自ら市に避難所の開設を促したということです。



【平賀新町区】

2 例目は、平賀新町区の「わの会」の活動です。区とは別組織（区長を含む）で行っています。区役員 OB など時間に「余裕あるシニアが、知恵と手間を出し合い、地域の互助を促進し、皆が安心して暮らせる環境づくりのために奉仕する」というコンセプトで活動。

特に防災訓練で「安否確認用旗」を活用しています。



- ① 災害支援者の安否確認は、隣近所の固定した2人が当たります。
- ② 一般の人は、隣同士で声がけします。避難するよという声がけが隣の家  
に避難スイッチを入れることができます。

【田町区】

3 例目は、同じく防災訓練活動として田町区のオクレンジャーを活用した安否確認です。狙いは、PC上で全区民の避難状況がひと目で分かる一元管理ができたり、離れた家族経由でも連絡が取れるということです。電話と併用して取組ましたが、高齢者は未だスマホ保有率が低く、オクレンジャーを使いこなせない人が多く、予想通り時期尚早であったとのこと。それでも2年目は前向きに受け止める区民も増え、高齢者等の普及率が高まる10年後を目指して継続したいとのこと。

田町区

PC上での避難状況一元管理

名前	組	閲覧	オクレンジャー登録		身体状況		自宅の被害状況
			本人	家族	本人	家族	
□□ □□	20組	未読	未登録	未登録			
□□ □□	20組	既読	登録済み	登録済み	無事	全員無事	被害なし
□□ □□	21組	既読	登録済み	登録済み	無事	全員無事	被害なし
□□ □□	21組	未読	未登録	未登録			
□□ □□	21組	既読	登録済み	登録済み	無事	全員無事	被害なし
□□ □□	21組	未読	未登録	未登録			
□□ □□	21組	未読	未登録	未登録			
□□ □□	21組	既読	登録済み	未登録	無事	全員無事	被害なし
□□ □□	21組	未読	未登録	未登録			
□□ □□	22組	既読	登録済み	登録不可	無事	不明	不明
□□ □□	22組	既読	登録済み	未登録	無事	全員無事	被害なし
□□ □□	22組	既読	登録済み	登録済み	無事	全員無事	被害なし
□□ □□	22組	既読	登録済み	未登録	無事	全員無事	被害なし
□□ □□	22組	既読	登録済み	未登録	無事	全員無事	被害なし
□□ □□	22組	既読	未登録	登録済み	無事	全員無事	被害なし

32

(1) 伝達訓練等

【上桜井区】

4例目は、伝達訓練等を行う上桜井区の活動事例です。

① 班長は訓練日1週間前より、要支援者の情報をつかみ避難行動要支援者の点検票を見直し、訓練当日電話確認します。

② 5つの係長は各係員に何を行うか自覚してもらうため役割について確認を入れます。

- 1) 避難行動要支援者の点検
- 2) 係員招集伝達訓練 実施

自主防災会ニュース R4 9/4 防災訓練行われる

1～6  
班長

- ・ 避難行動要支援者の点検

5  
係長

- ・ 情報
- ・ 消火(水防)
- ・ 救出救護
- ・ 警戒
- ・ 避難所運営

・ 招集伝達訓練  
係員56名へ



直ちに点検報告開始

(1) 伝達訓練等 1) 避難行動要支援者の点検 (点検リスト1)

班	世帯	要支援者数	独居(原居)	一次避難所への移動	親戚近所への移動	自宅待機	福祉避難所希望	ご近所連絡先確認
1班	A	2	○			②	②	
	B	1			○			
	C	1	△	○				
	D	1	○	○				
	...							
10世帯	12人	5人	6人	3人	2人	2人		
2班	A	1	○					
	B	1	△		○			
	2世帯	2人	1人		1人			

班長が要支援者の情報を1週間前までにまとめ、当日電話で確認。個人情報は、提供希望者のみ。

(3) 自主活動：ご近助の女性陣活躍

JA女性部 桜井支え合いの会 共催

R3 6/21 楽しくためになった防災を考える集い

地元女性消防士さんによる講義



- ・ 避難グッズ
- ・ お役立ち情報
- ・ 避難所で便利な簡易トイレの作り方など紹介。

R4 7/19  
おいしい  
防災食を  
作ってみました



- ・ 最小限の水と燃料でカレーライス & ホットケーキ

和気あいあい 爆笑沸騰の調理室

## 【三条区】

5例目は、三条区で過去に作成してくれた区のマップを活用したことです。区民の了解を得ながら、特に各家に個人名を入れました。民生児童委員さんからは誰がどの家なのか分かるのでとても便利だという評価を得ました。

三条区

### 三条区防災活動



(1) 個人名入り三条区自作マップ

○自分たちで作ることが大事

- ・防災マップやハザードマップは行政が機械的に作ったもの。
- ・過去に作成してくれた人のものをベースにして作成。

特色

- 1) 自治会（常会）毎に色別
- 2) **個人名を入れている。**  
→民生児童委員さんより、誰がどの家か分かるので便利
- 3) 赤○は危険区域
- 4) 水路
- 5) 空き家
- 6) 消火栓

44

### 〈第2部：参加者同士の情報交換〉

第2部では、グループ毎に分かれ、感想や各区の困りごとなど率直な意見を出し合い、参加者同士で情報交換しました。

ここでは①区民並びに自身の防災意識、②避難タイミング、避難場所③災害弱者、④民生児童委員と区の連携、⑤近助、⑥女性の活躍などについて話題が出て改めて参加者の防災意識が高まりました。

具体的には以下の様な話題がありました。

①区民並びに自身の防災意識では、区長自ら他区の事例を聞いて自身の意識が低かった、区としても土嚢づくりはするものの消化訓練に特化してしまっていたと反省されていました。

②避難タイミング、避難場所では、市からのレベル発令を受けてからでは遅く、雨量計のデータや気象情報を掴みながら、自ら判断していくことも重要。また、ある区では、公民館も川のそばで危険なところにあるので少々高い位置にあるお寺を一時的な避難場所としている。避難場所が川を渡ったところにあるが、そこも安全かどうか疑問である。また、垂直避難という手もあるのでいろんな選択肢を持っておく必要がある。

- ③災害弱者といわれる高齢者や障がい者など、区で把握しようとしても個人情報を書かない人もいる。避難指示が出た場合でも「私はやだよ、避難しないよ」とお年寄りは拒否してしまう。
- ④民生児童委員と区の連携では、民生児童委員としては、区の役員と情報共有したいが、「個人情報を出してはいけない」という縛りから難しい点がある。また、区長との連携ができていない区もあるので、市からも民生児童委員と連携するよう区長さんに働きかけて欲しい。
- ⑤近助については、いざというときは最も近くにいる隣近所の方の“声かけ”が大事。強制ではなく、できる人にやってもらうのが大事。
- ⑥女性の活躍については、防災活動に男性だけでなく女性の視点を入れると良い。

参加した区長さんからは「他区がどんな取組をしているかがわかり、大変参考になった」という感想があった一方で、「有効な事例を聞けたが、どうやって区で展開していくか悩みどころ」というお話もありました。また、参加した民生児童委員さんからは、「民生児童委員が集まる会議では一方通行となりがちでなかなかこういった意見が言える場がないが、今回のおしゃべり会はとても良い雰囲気だった」と感想をいただきました。